

アジア・パルプ・アンド・ペーパーが木材合法性認証の最高基準を達成

2012年11月13日、ジャカルタ——アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ(APP)は、最後の第9番目の工場においても、その事業全体で木材合法性の世界的最高基準を達成していることが認められ、最高レベルの木材合法性認証を取得しました。

[SVLKはインドネシアの木材合法性保証システムです。](#)このシステムは、工場が合法的供給源に由来する木材のみを受領および加工し、インドネシアが輸出するすべての製品が検証可能な供給源まで遡れることを保証するために作成された、厳格な加工・流通管理過程から成るものです。

この最後の認証は、[今年7月以降すでに認証を取得している他の8工場](#)に続いて、APPのピンド・デリ・ペラワン工場が2012年11月7日に受領したものであり、2013年1月までに全工場で認証を取得するという自社目標を超えるものです。

APPの持続可能性およびステークホルダー担当役員のアイダ・グリーンベリーは「100%の法順守はこれまで常に当社が目標としてきたものであり、この達成をうれしく思います。米国やEU諸国の新たな要求事項が示すように、市場はすべての製品が検証可能で追跡可能な合法的供給源に由来することを示す証拠を求めているのです。当社は合法性に関するこうした要求に応えると共に、[持続可能性ロードマップビジョン2020](#)に詳述されているように、サプライチェーンでの森林破壊を2015年までに根絶するという意欲的な持続可能性プログラムを実施しています」と語りました。

SVLKには、インドネシアの企業が新たな欧州連合木材規制(EUTR)の規制に合致する、という重要な役割があります。2011年4月、森林法の施行・ガバナンスおよび貿易(FLEGT)に関する行動計画のもと、インドネシアと欧州連合(EU)は自主的・二国間協定(VPA)に調印しました。SVLKはこの自主的協定に基づくものであり、その内容はインドネシアから供給される木材の合法性を保証する信頼できるシステムとして認められています。EUとインドネシア間のこのVPAが、2013年に運用開始されることが期待されています。

林業省林産物加工・販売局長官のストゥハルト工学博士は次のように述べています。「SVLKは国家の木材合法性基準として、すべてのインドネシア製木材製品が合法的供給源まで追跡可能であることを世界市場に対して保証しています。我々の基準は国際的に認められており、世界各国に向けた我が国の製品の輸出を促進するものです。複数のステークホルダーの皆様によるご支援がなければこれは実現できなかったことでしょう。APPは当初からこの計画を強力に支持してくれました。同社のすべての工場が認証を取得したことに、お祝いを申し上げます」

インドネシアのSVLK認証基準は、政府、業界、市民団体、学会など、複数のステークホルダーが参加する数年におよぶ討議を通じて策定されました。認証は国立認定委員会(KAN: National Accreditation Committee)により授与され、市民団体や林産業界の専門家で構成された林業独立監視ネットワークにより独立した監視が実施されます。

本件に関するお問い合わせ先:

エイピーピー・ジャパン株式会社

環境・PL 対策ユニット

寺崎 孝穂

Tel: 03-5217-1256

Email: t-terasaki@appj.co.jp

APP 広報代理店

バーソン・マーステラ

田中 彩

Tel: 03-3264-6701

Email: aya.tanaka@bm.com

APP インドネシアについて:

[アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ \(APP\)](#) は、インダ・キアット紙パルプ会社、ピンド・デリ紙パルプ会社、チウィ・キミア製紙会社、ロンター・パピルス紙パルプ会社、エカマス・フォルトウナなど、インドネシアにある複数の工場で生産されている紙製品の総合ブランドです。APP はインドネシアに本社を置き、世界 120 ヶ国を超える国々で製品を販売しています。APP の生産設備の大部分は [LEI](#) と [PEFC](#) による加工・流通過程認証を取得しています。

APP は、[ギアム・シアク・ケチル・ブキット・バツ](#)にある 178,000 ヘクタールの[生物圏保護区](#)、106,000 ヘクタールの[セネピストラ保護区](#)など、多くの大規模な環境保全取り組みを支援しています。両保護区はスマトラ島リアウ州に位置しています。APP による野生生物保全取り組みには、他にもカリマンタンでの[クタイ・オランウータン・プログラム](#)や、ウジュン・クロン国立公園での[ジャワサイ](#)保護への支援などがあります。

APP の持続可能性ロードマップ ビジョン 2020:

2012 年 6 月 5 日、アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループは、次の 10 年とその先を見据えた[持続可能性ロードマップ ビジョン 2020](#)を発表しました。これは、環境パフォーマンスのさらなる改善や、生物多様性の保護、地域社会の権利保護に対する APP の誓約をさらに拡大するものです。APP はこの過程で、[持続可能性ロードマップ](#)に記載された目標に沿って、その進捗状況を透明性を持って定期的に報告することを約束しました。主要目標の中には、2015 年までに植林木への依存度を 100%とすることや、2020 年までにパルプ材供給会社の 100%が持続可能な森林管理 (SFM) 認証を取得することなどがあります。

このロードマップの土台となるのは、責任ある原料調達と加工方針 (RFPPP) です。そのため、事業全体の[保護価値 \(HCV\)](#)や、伝統的市民権の保護が不可欠な要素となります。APP が着手したこの計画は、当社の持続可能性目標の達成を目的とする、NGO、政府、お客さま、地域コミュニティの参加を含めた、複数のマルチステークホルダーによる取り組みを反映しています。詳細については、下記ウェブサイトをご参照ください:

www.rainforestrealities.com、www.asiapulppaper.com